＊＊ 2024年 4月改訂（第7版）
＊ 2024年 4月改訂（第6版）

貯法	２～５℃

動物用医薬品
（体外診断用医薬品）
犬パルボウイルス抗原検査用キット

承認指令書番号	12生蓄 1669 号 ＊
販売開始	2001年6月

チェックマン®CPV

（一般的名称：犬パルボウイルス感染症診断用金コロイド標識抗体反応キット）

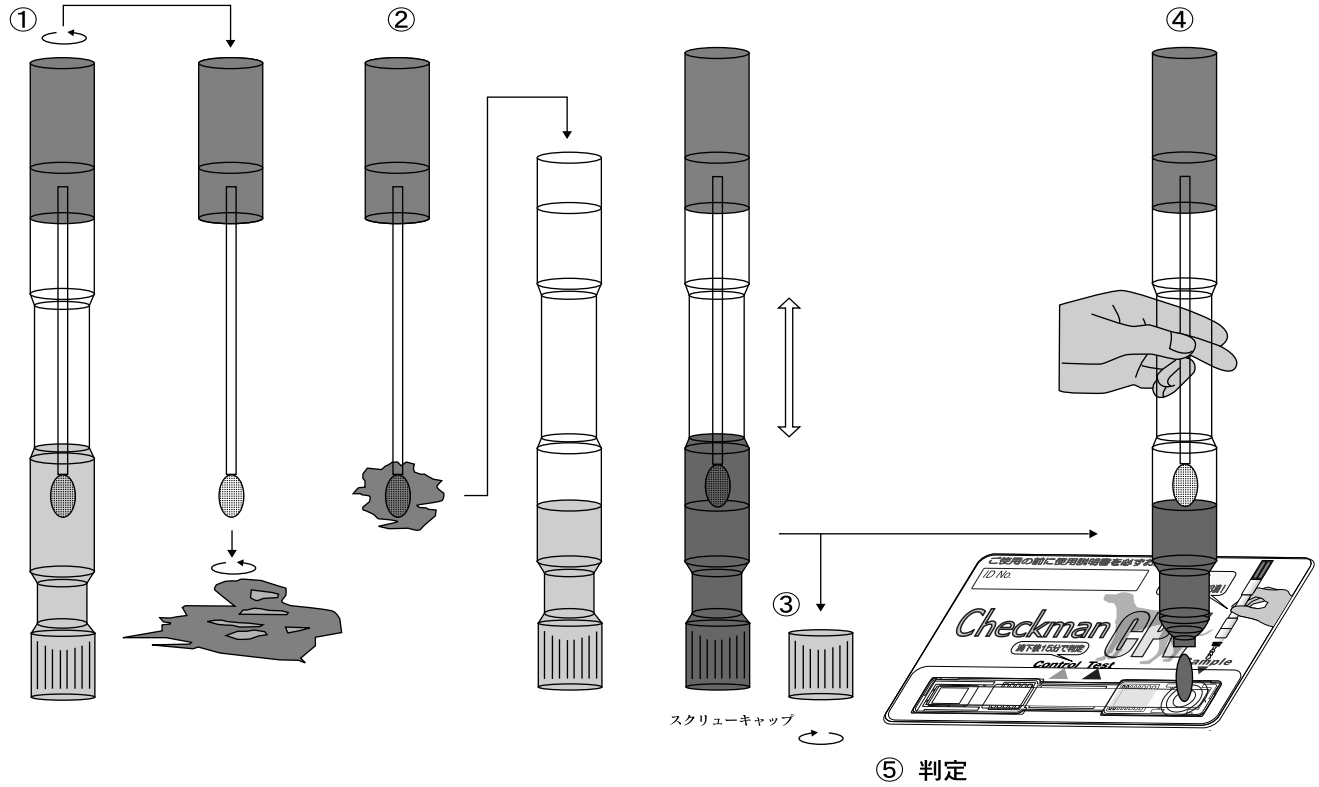
【特　　徴】＊
チェックマン®CPVは、免疫クロマト法を利用した、犬パルボウイルス（CPV）抗原検査用キットである。犬の糞便中に排泄されるCPVを迅速かつ簡便に検出することが可能である。

【成分及び分量】
１テスト分当たり
・検査用カード　１枚
　抗CPVモノクローナル抗体 ACP－11　1.0μg
　抗マウスIgGヒツジ抗体　0.5μg
　金コロイド標識抗CPVモノクローナル抗体 ACP－11　0.2μg
・採便用試験管（サンプル懸濁用緩衝液入り）　１本
　２％牛血清アルブミン加リン酸食塩緩衝液　2mL

【効能又は効果】
犬の糞便中における犬パルボウイルス抗原の検出

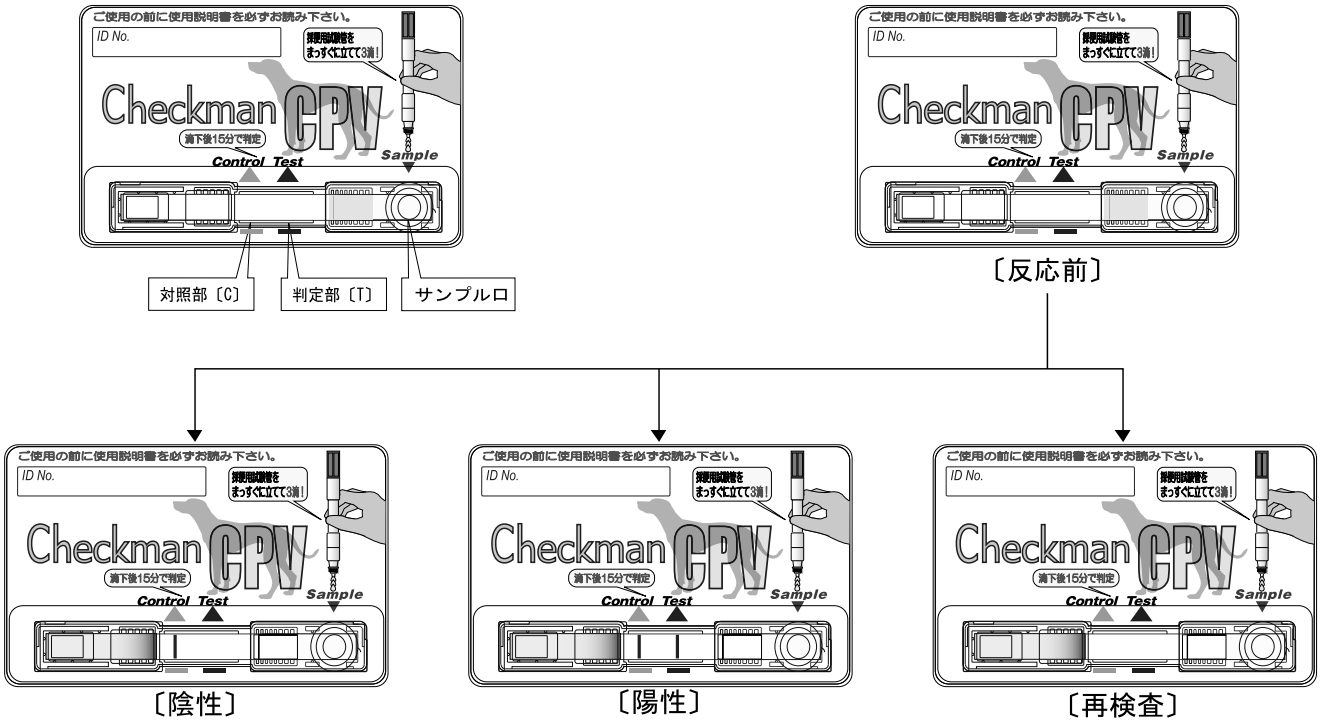
【用法及び用量】
⑴採材及び検体準備
①採便用試験管の上部綿棒を外し、被検糞便（約0.1g）を綿棒全体に馴染ませる。**（図①）**
②綿棒を試験管内に戻して密栓し、上下に振ってよく懸濁し、これを試験液とする。**（図②）**

図



⑵操作方法
①試験管下部のスポイト部分のスクリューキャップを外す。**（図③）**
②検査用カードの〝Sample〟（サンプル口）に試験液を３滴（約0.15mL）滴下する。**（図④）**
③室温に静置して１５分後に判定する。**（図⑤）**

⑶判定
① 〝Control〟 対照部〔C〕に赤紫色の線が出現すれば正常な試験が行われていると判断される。
② 〝Test〟 判定部〔T〕に赤紫色の線が出現した場合に陽性と判定する。
③ 〝Test〟 判定部〔T〕に赤紫色の線が出現しない場合は陰性と判定する。
④ 〝Control〟 対照部〔C〕に赤紫色の線が出現しない場合には、正常な試験が行われていないと判断されるので、別の検査用カードを用いて再度試験を行う。



【使用上の注意】＊＊

一般的注意

⑴本キットは、定められた使用方法に基づいて使用すること。
⑵本キットは、使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

使用時の注意

⑴本キットの検出感度は排泄されるウイルスの量に依存し、その量が検出限界以下の場合、陰性に判定される可能性があるので注意すること。
⑵本キットによる陰性判定は、必ずしもウイルスの存在を否定するものではないので注意すること。
⑶判定時間１５分を厳守すること。
⑷犬パルボウイルス感染症生ワクチンを注射した犬の糞便では、本キットで陽性を示す場合があるので注意すること。
⑸粘稠な便、粘液様便の場合は、展開が遅く対照ラインが判定時間以内に出現しないことがあるので、そのときは生理食塩水0.05mLをサンプル口に追加し、展開を促し反応を見ること。この場合は参考値とすること。
⑹猫汎白血球減少症ウイルス（Feline panleukopenia virus, FPLV）とは同程度の反応を示すことがあるので注意すること。
⑺検査用カードおよび採便用試験管（サンプル懸濁用緩衝液入り）は検査ごとに新しいものを使用すること。
⑻採便後は速やかに使用すること。

取扱い上の注意

⑴有効期限の過ぎたキットは使用しないこと。
⑵検査用カード及び採便用試験管は室温に戻してから使用すること。
⑶検査用カード開封後は速やかに使用すること。
⑷キット使用後は採便用試験管と共に殺菌して処分すること。

保管上の注意

⑴小児の手の届かないところに保管すること。
⑵直射日光、加温又は凍結は、本キットの品質に影響を与えるので避けること。

【製品情報お問い合わせ先】
共立製薬株式会社　学術

〒102-0073
東京都千代田区九段北一丁目 11 番 5 号
TEL：03-3264-7556

【包　　装】
１キット　５テスト分

製造販売業者　アドテック株式会社　大分県宇佐市上田1770-1

発　売　元　共立製薬株式会社　東京都千代田区九段南 1-6-5 ＊